



【白小だいすき・白根がだいすき】

新潟市立白根小学校 学校だより

白小だより

「い」じめを許さない・「ル」ールを守る・「か」んがえて行動する

令和8年4月号②

【教育目標】

ゆたかに
かしこく
たくましく

子どもたちは無限の可能性をもっています

校長

先日、私のもとに、1通の手紙が届きました。それは、今から約20年前に私が6年生の担任をしていた時のクラスの女の子からでした。私が、白根小学校に赴任したことを知り、学校に手紙をくれたのです。その手紙には、次のようなことが書かれていました。本人の承諾を得て一部をご紹介します。

当時、先生は私のことをとても気にかけてくださいました。ですが、私はとても幼稚な子どもだったので、それがどれだけありがたいことなのかも分からず、強がったり迷惑がったりするような態度をとってしまった記憶がたくさんあります。本当は気にかけてもらい、親切にしてもらい、とても救われていたのに、です。中1になった時、先生が一度〇〇中に来られた際、お会いしたのですが、その時も照れもあって素直でいられませんでした。ごめんなさい。(中略)

6年生の時も中1でもたくさん失礼をして申し訳ありませんでした。たくさん親切にしてくださって本当に本当にありがとうございました。

このような手紙をもらい、恐縮した気持ちと、あの時のあの子が、こんなにも立派になったんだといううれしさと、教員という職業人として、言葉では言い表せないほどの大きな喜びを感じました。更に、「教育」という営みの成果は、長い時間の先に現れることがあることを、改めて感じさせてもらいました。

私たち大人は、子どもたちに対して、時として目に見える形での結果を、しかもそれをすぐに求めたがるような気がします。また、「自分はこれだけやっているのに」と見返りを求める気持ちが働いたりすることもあるかもしれません。結果が現れないと虚しさを感じたり投げ出そうとしてしまったりするかもしれません。しかし、時間がたたないと分からないことがあることを、この手紙は教えてくれていると思います。子どもたちを大切な存在として敬い、誠意をもって真摯な態度で接していけば、必ずそれは子どもたちに伝わるのではないのでしょうか。私はそう信じたいと思います。

子どもたちには無限の可能性があります。そしてその可能性は今すぐには分からないこともあると思います。教育や子育ては、そもそもゴールを決められないものなのかもしれません。

今年度も、子どもたちの成長を支えるよきパートナーとして、学校と家庭がしっかりと連携し、子どもたちの力になれたらと思っています。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

入学式:4月8日(水) ~52名の白根っ子たちが仲間入りしました!~

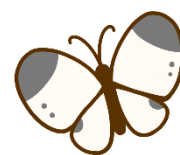
4月8日(水)、52名の新入生が白根小学校へ入学しました。ピカピカのランドセルを背負って登校する姿が輝いて見えました。入学式では、担任から名前を呼ばれ、緊張した中でもはっきりとした声で返事をする姿がとても立派でした。

これから友達と楽しく活動し、笑顔あふれる毎日を過ごしてほしいと思います。



1年生を迎える会:4月22日(水) ~ようこそ1年生~

運営委員会が進行を務めました。1年生と6年生が手をつないで入場するところから始まり、2年生がオープニングダンスで盛り上げてくれました。なかよし班で自己紹介ゲームを行い、同じ班の仲間の顔と名前を楽しみながら覚えることができました。1年生からのお礼の言葉では、元気な声を響かせることができました。



白根小学校ブログをご覧ください!

白根小では日々の活動の様子をブログで紹介しています。今年度も学校の取組や子どもたちの様子をお知らせしていきます。どうぞご覧ください。

<https://blog.city-niigata.ed.jp/shirone-es/>

